

「AI系ディープテックスタートアップの経営環境」 御講演をいただいた際のコメント

経済産業省 情報技術利用促進課
(併) デジタル高度化推進室

松本 理恵

日本企業のDX と ディープテックスタートアップ

- アンドリーセンが Software is eating the world と書いてから10年。急速なデジタル変革（AI応用の時代の到来）、パンデミックによる加速、GPT等の大型言語モデルによるソフトウェア開発の変化など、**デジタルを取り巻く環境は大きく進んでいる。**
 - デジタルトランスフォーメーション（DX）の必要性を理解している企業経営者は多いが、**実際にDXに取り組んでいる企業はわずか。**取組を始めていても、データのデジタル化（digitization）や、業務プロセスのデジタル化（digitalization）に留まってしまう。
 - 経産省では、2018年に「DXレポート」を発刊。DXが進まなければ、2025年には最大で年間12兆円もの損失が生まれると試算している（**2025年の崖**）。
 - 必要なのは「**技術**」と「**スピード**」：これは**AIディープテックスタートアップの強み**でもある。
 - 既存企業とディープテックスタートアップが組むことで、DXを実現しながら、スタートアップも伸びていく未来像は描けるのか？（それとも、DXは、企業単位での新陳代謝でしか実現されないのか？）
- 
- 日本企業DXと、DeepTech Startup Successの双方を同時に実現するような、企業とディープテックスタートアップの関わり方とはどのようなものか、お伺いしたい。